

横手市環境保全審議会議事録

日 時 平成18年2月20日(月)午後1時30分～2時45分

場 所 本庁南庁舎会議室

1. 出席者

審議会委員 大 部 桂 (横手～学識経験者)
佐 川 君 子 (横手～学識経験者)
猿 橋 晃 (横手～学識経験者)
佐 藤 春 夫 (平鹿～学識経験者)
佐々木 秀 智 (山内～学識経験者)
佐々木 巳和子 (横手～婦人代表)
大 庭 喜美子 (雄物川～婦人代表)
岡 部 たえ子 (大森～婦人代表)
黒 沢 紀 子 (十文字～婦人代表)
小松田 ち 系 (大雄～婦人代表)
鎌 田 勲 一 (横手～環境美化推進員等)
内 田 昭 一 (増田～環境美化推進員等)
後 藤 正 (平鹿～環境美化推進員等)
佐々木 徹 (雄物川～環境美化推進員等)
坂 本 哲 也 (横手～企業関係者)
(代理出席 土門 篤)
眞 壁 裕 (横手～企業関係者)
阿 部 三 瑠 (横手～弁護士)
菅 原 多一郎 (横手～地域活動、青少年育成関係者)
～以上、18名

欠席された委員 黒 沢 運 蔵 (十文字～環境美化推進員等)
磯 部 京 悦 (横手～医師会) ～以上、2名

事務局 五十嵐 忠 悦 (横手市長)
佐々木 久 雄 (福祉環境部長)
粕加屋 健 市 (環境課長)
高 村 明 (環境課環境企画担当チーフ)
越後谷 利 秋 (環境課環境企画担当)
眞 田 涉 (環境課環境企画担当)
皆 川 規 和 (環境課環境保全担当チーフ)
菅 原 幸 広 (環境課環境保全担当)
柿 崎 政 人 (環境課環境施設担当チーフ)
各地域局市民生活課～環境・防災担当者15名 (合計42名)

2. 市長あいさつ

委員の皆様には、日頃から環境問題についてのご指導を賜り、改めて感謝申し上げたい。新横手市の予算編成等、想定されていたとはいえ、大変厳しい作業を強いられている。市役所職場としての、率先行動計画も含めた環境基本計画を再編成すべく、準備を進めている。皆様からのご助言をよろしくお願ひしたい。

全市的にみて、おかげさまで市民の皆様にだいぶ意識が浸透したせいか、これまでのところ、家庭ごみは徐々に減少傾向にあるようだ。環境という課題の中には、ごみ問題や不法投棄の抑止という大きなテーマもあり、連携しながら施策を展開していくことが求められている。環境に配慮したライフスタイルに転換を図るということは、これまでの生活をすべての分野・視点で見直すという作業を伴うものであると思う。

環境問題は難しい問題ではあるが、皆様からの知恵を拝借し対応していきたい。

(あいさつの後、公務のため、市長は退席)

3. 会長、副会長の選出

(「事務局一任」との声あり、事務局：佐々木福祉環境部長より提案)

(会長 = 佐川君子委員、副会長 = 佐藤春夫委員、全員の拍手で承認)

4. 会長あいさつ

自分の年齢も考え退任と思っていたのだが、一期2年間だけお引き受けしようかと決意をした。皆様のご協力なしにはできないことであり、よろしくお願ひしたい。

環境そのものが、膨大な問題を抱えているとともに、もっとも身近な課題でもあるという二つの命題を意識しつつ、私たちの住み良い暮らしを考えていき、さらにそれを子孫にも伝えていかなければならないのだと思うと、とても重責であると痛感する。

5. 事務局職員紹介(部長、課長が自己紹介～高村より各職員を紹介)

6. 各委員から自己紹介

大部： 旧横手市の「環境基本計画」策定の際に、生物分布調査を実施したが、そのときの植物分野を担当した。よろしくお願ひしたい。

猿橋： 虫捕りが好きで、蝶々やトンボの採集に明け暮れている。新市の全てを知るわけではないが、東側や増田地区の山一帯には絶滅危惧種などたくさんの種類が生息している。私も生物分布調査に携わってきた。川の水を守っていきたい。

佐藤： 一般廃棄物の収集運搬を行っている。副会長とのこと、お世話になります。

佐々木：環境教育事業への貢献を自分の役割と考えている。よろしくお願ひしたい。

佐々木（巳）：主婦の立場として意見を述べていきたい、お世話になります。

大庭：環境あきた県民塾に参加し学習を体験した。これからもさらに勉強してみたい。

岡部：婦人代表ということで、皆さんと一緒に環境のことを勉強してみたい。

黒沢：従来は（環境問題に関し）無関心であったが、環境保全推進員となってからはいろいろ思うことがある。各地の方々の意見をご参考にして活動に役立てたい。

小松田：一般の主婦として、家庭からの視点で意見を述べられれば、と思っている。

鎌田：横手地域の環境美化推進員連絡協議会、横手平鹿地区衛生組織連合会、同ごみゼロあきた等の代表を努めている。ごみ減量化や不法投棄抑止面で貢献したい。

内田：鎌田さんと同様、地域での環境衛生関係の住民組織に所属している。

後藤：県のリサイクルリーダー研修会に参加した経験がある。我が家では「ごみ出し係」なので、そういった実践経験の視点から意見を述べてみたいと考えている。

佐々木（徹）：農業従事者として、次世代の子どもたちへ残すべき環境に関し考えたい。

坂本（代行：土門）：社内では環境保全を担当しており、地域にも貢献していきたい。

真壁：社団法人横手青年会議の理事長を務めている。会員は世界で約100万人、日本では4万人、20歳から40歳までの青年が集い、まちづくり活動を推進している。

団体内に環境問題の担当部門があるので、各種の情報提供をお願いしたい。本業である乾麺製造の面から、水質その他、研究機関との連携もありお役に立ちたい。

阿部：弁護士をしております。環境問題には関心があります。

菅原：子ども会世話人活動の実践からは離れていますが、以前は土地改良区の仕事をしており、そうした経験などで何かしら役に立てればと思う。

会長：こんなにも頼もしい、たくさんの委員の方々がおられることを嬉しく思います。

皆さまの持ち味を、うまくこの会の運営・推進に役立ててまいりたい。今後ともお力添えをよろしくお願ひしたい。

7. 議事録署名委員の選任

大部委員、猿橋委員が選出された。

8. 協議案件

1) 横手市環境基本計画について

～事務局より説明 (高村)

(前段で、環境保全審議会の根拠条例や概要に関しても併せて説明)

○質疑の概要

(委員) この計画を協議するうえでの、審議会の今後の予定は？また、具体的な実践や率先行動も4月から始めると解釈してよろしいか？

(回答) 審議会は、3月に入りもう一度開催をする予定だが、それまでの間に皆さまからのご意見をふまえ、必要に応じ修正を加えたうえで3月中の完成を目指している。

特に、横手市役所事業所としての市職員を中心とする率先行動などは、4月開始の予定で考えている。

(会長) それぞれ、各自それぞれが専門の分野から、あまり時間はないわけですが、内容へのご指摘やお気づきの点を、事務局の方へお寄せいただければと思います。

(委員) 計画案の第4章の3、「施策の展開」にある「基本目標」の(1)「環境教育・環境学習」に示された「市の主要な施策」～<学習・活動の場の提供>の6にある「野外学習施設の整備」とは、具体的にどういうことか？わざわざこれを整備するのではなく、既存の自然等があればそれで学習の場となるのではないのか？

(回答) おっしゃるとおりです。ただ、ここに表記した内容が指すものとして、自然公園的意味合いでの例えば「いこいの森」といった従来からの資源があり、それらを有効に活用できるよう市側として可能な配慮ができれば、との思惑が含まれています。

(委員) 一度に全部を検討するのではなく、各章ごとに区切った説明や検討作業の進め方などはできないものか？スムーズに全体が把握できるようできないか？

(回答) 次回の審議会までの間に、極力、皆さんからご意見をお寄せいただければと考えている。

(会長) 日程的にも予算的にも厳しいという事情もあるようであり、全体的には必要なことがらがおよそ網羅されていると考えたい。後半の施策の部分でのチェックなどに的を絞るのもひとつの方法ではないのか。その観点から、他にご意見を賜りたい。

(委員) 計画案の第4章の3、「施策の展開」中、「基本目標」の(2)「克雪・親雪・利雪」に示された「市の主要な施策」~<雪に強いまちづくり>の5にある、「除雪作業は午前7時30分まで市内対象路線すべての除雪を終了させる」との表記に関してだが、本当に可能であろうか？今年の雪を見ていて、如何なものか？

それから、第2章の3、「生活環境」の(2)「水環境」の「生活排水」の部分で述べられている「下水道普及率」の低さなどに関し、どのような課題や具体的解決策があるのかを示していただければ、と感じた。

(回答) 先ほど来、非常にタイトな日程の中での計画案の審議であることに對し委員の皆さまからご指摘をいただいているが、この点は来年度以降に本格的に検討される廃棄物処理統合施設の整備や、新たな指定袋制を導入したごみ分別ルールの再構築等、スケジュール的に急がねばならない事情があったためであり、お詫び申し上げたい。

また、ご質問の件に関しても、市役所内部の各課よりの意見がまだ充分ではなく、その調整の作業をすすめている段階であるので、何とぞご理解いただきたい。除雪に関しては、小路や狭隘な道路も含めたすべての道路という意味ではなく、市内の道路除雪計画の中で定められている日々の具体的目標として決められている内容を指しており、実際にそのように運用されている部分なのでご理解願いたい。下水道の普及率等に関しても、下水道の担当課よりチェックが入り、第3章の「目指すべき環境像」の部分で詳細に今後追加表記されることになっているのでよろしく願いたい。

(委員) 新市の基本計画に反映させようと、先般行われた市民アンケートの結果をふまえての内容を、この計画に織り込むことはできないか？

(回答) 具体的に担当課と摺り合わせをしていないが、今後早急に協議し、可能ならば織り込むことができるよう努力したい。

(委員) 審議会という場面のみでなく、市民を対象とした説明会や協議の場というものは設定されないのか？

(回答) 今回に関しては、特に予定していないが、市民全戸配布用にダイジェスト版は作成する予定である。

2) その他(報告など) 特になし。

~その他、特に意見はなし。次回の審議会日程の前(概ね3月6日頃)までに各自、意見や加筆修正等を事務局に集中することを確認し、閉会。

平成18年3月8日

議事録署名委員

大 部 桂
猿 橋 晃